保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

・ランプが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・スイッチは正常に切替りますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・可動部は異常なく動作しますか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。
※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または、当社「CSセンター」までお申し出ください。

(2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木·竹·籐 布·和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
ランプ寿命(切れ)以外の異常は、工事店(購入先)にご相談ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談　　CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)へご連絡ください。
受付時間(月～土曜)9：00～17：00　日曜·祝祭日は受付しておりません。

施工・取扱説明書

保存用

品　番	DCL-35145

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●器具の取付工事は、必ず工事店·電器店(有資格者)にご依頼ください。

工事店様へ
●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠警告
取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守：この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災·落下の原因となります。

厳守：器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災·感電·落下の原因となります。

禁止：周囲温度5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止：器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災·感電·落下の原因となります。

禁止：器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災·感電·落下の原因となります。

分解禁止：器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災·感電·落下·転倒等の原因となります。

厳守：電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災·感電の原因となります。

厳守：煙·臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災·感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

⚠注意
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守：電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意：照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F
TEL：(06)6222－6240(代表)

CH7-35145-A

施工説明	工事店様へ

●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

仕様

●屋内天井取付専用器具です。
●器具にはアクリルとプラスチックを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
●木ネジ(2本)取付専用器具です。
●ロングラン機能付です。
●トイレ·洗面·廊下用ON/OFFタイプ人感センサー付です。
●電球形蛍光灯(A形)15Wまで使用可能。
●調光器との併用はできません。

品番	DCL-35145
定格電圧	交流　100V
消費電力	最大　60W
適合ランプ	一般球　ホワイト 100V　60W形×1灯　E26
点灯照度	暗(15ℓx)　·　明(45ℓx)　·　切(10000ℓx)
点灯時間	10秒・1分・3分
動作	ON/OFFモード
強制オン時間	8時間
ソフトスタート時間	約5秒
フェードアウト時間	約5秒
検知距離	天井高さ約5mまで
器具重量	約0.6kg
電源接続	端子台

※蛍光灯モードでは、ソフトスタート·フェードアウトはいたしません。

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

⚠警告

水ぬれ禁止

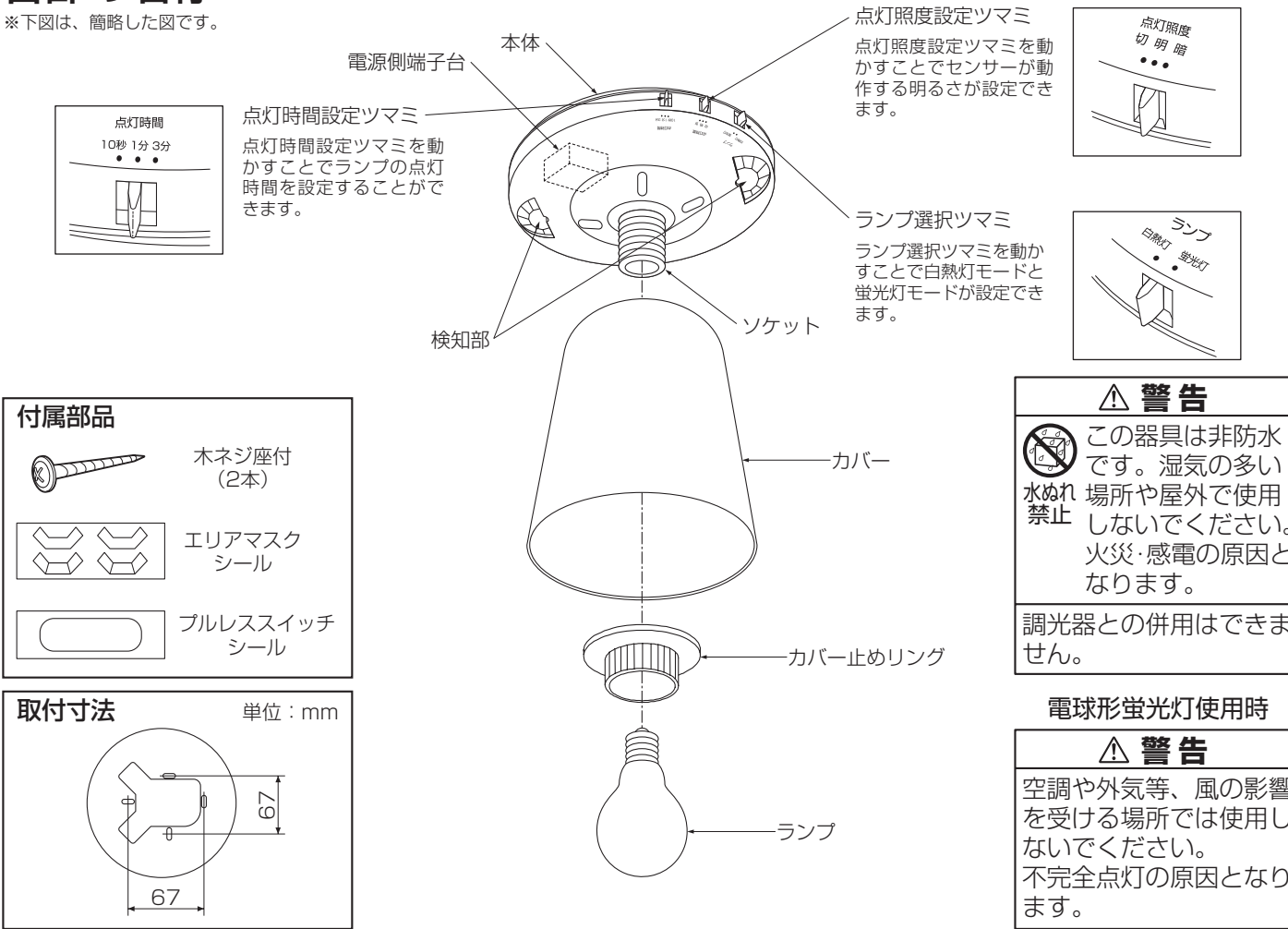
この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災·感電の原因となります。

調光器との併用はできません。

電球形蛍光灯使用時

⚠警告

空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。不完全点灯の原因となります。

取扱説明	お客様へ

●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●器具の取付工事は、必ず工事店·電器店(有資格者)にご依頼ください。

ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1．人を検知すると全灯状態になります。
	2．人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分)後、消灯状態になります。
	3．周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1．周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

●強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)
●検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。
※人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

ランプ交換方法

⚠警告　必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電·やけどの原因となります。

●ちらついたり、つかなくなったランプ(寿命で切れたもの等)は、すみやかに下記の手順で交換してください。

❶ランプを交換する

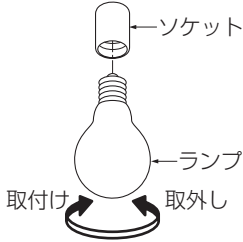
●ランプをソケットから取外してください。
●適合ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。

⚠警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、落下·不点·接触不良の原因となります。

⚠注意

点灯中や消灯直後はランプが高温になっていますのでさわらないでください。やけどの原因となります。

※110V60W形一般球も使用可能です。

ご使用上のご注意

●室内スイッチ·ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障はありません。)
●ランプ交換、または掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
●検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じて反応するもので、故障ではありません。)
●季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
●人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまったりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下·変質·変色の原因となります。
●ランプの取扱いは、交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
●故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	照明器具	●ランプが切れていませんか？ ●適合ランプを使用していますか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていませんか？

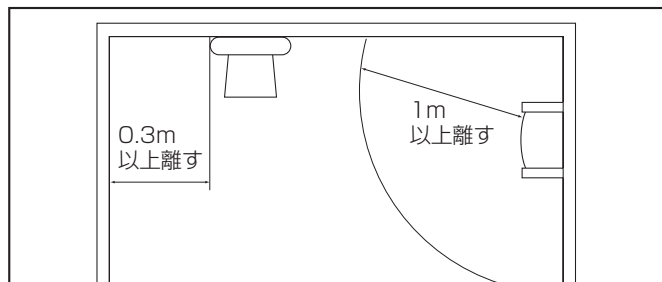
●センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、5ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

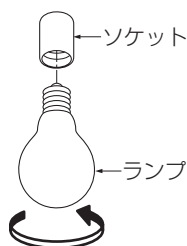
適合ランプについて

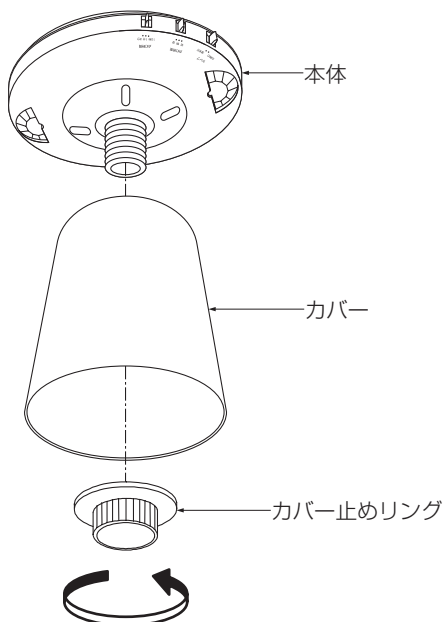
●明るさを優先する場合は、100V60W形をおすすめします。
●消費電力、寿命を優先する場合は、110V60W形をおすすめします。
※110Vランプは100Vランプに比べ約30%暗くなりますが、消費電力は約15%少なく、さらに長寿命となります。

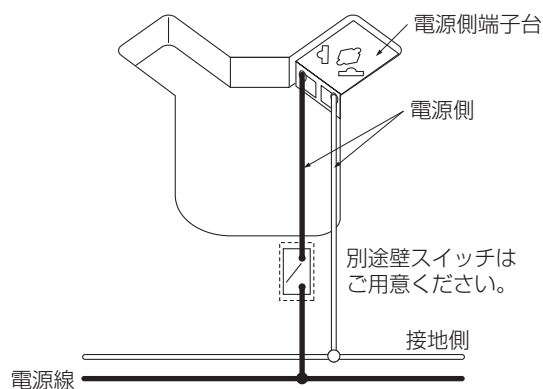
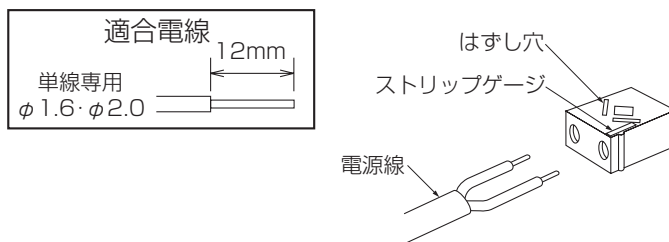
施工説明

❶ 取付け前の注意事項について

●日光、ヘッドライトなどの強い光があたる場所には取付けないでください。
●風の強く当たる場所(エアコンの吹き出し口付近)へ取付けないでください。
●ガスコンロなどの熱気をあびる場所、風呂場などの高湿度となる場所は取付けないでください。
●他の照明器具から1m以上離れた場所に取付けてください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
●壁面から0.3m以上離れた場所に取付けてください。

❷ ランプを取外す

●ランプをソケットから取外してください。

❸ カバーを取外す

●カバー止めリングをゆるめて、カバーを取外してください。

❹ 電源を接続する

●結線図に従い、正しく配線を接続してください。
※壁スイッチは必ず設置してください。
　通常は壁スイッチをONのままでご使用ください。

●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。
●端子台に奥まで確実に差し込んでください。

⚠ 警 告	
適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

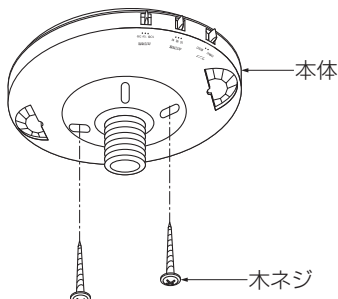
＜電源線を取外す場合＞

●必ず電源を切ってから作業してください。
●マイナスドライバー等をはずし穴に差し込み、電源線を引き抜いてください。

施工説明

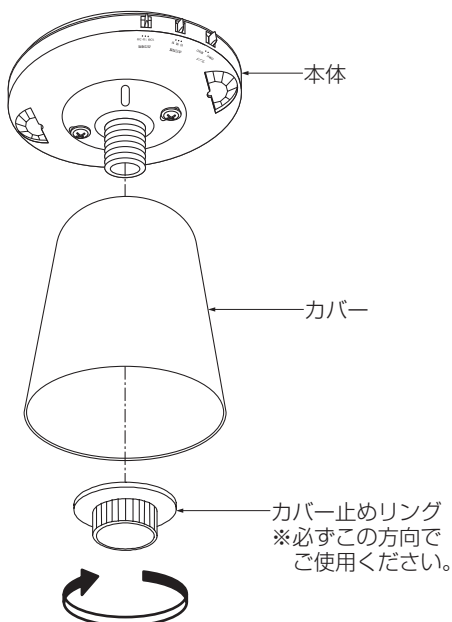
❺ 本体を取付ける

●取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分ですと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

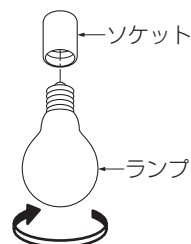
●本体を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。

⚠ 警 告
取付部、補強材へのねじ込み寸法が、20mm以下の場合、落下の原因となります。
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。落下の原因となります。

❻ カバーを取付ける

●カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか確認のうえ作業してください。

●カバーを本体にセットし、カバー止めリングで確実に取付けてください。

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

❼ ランプを取付ける

●ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。

⚠ 警 告
ランプの取付けが不完全な場合、落下･不点･接触不良の原因となります。

❽ 使用前に確認する

●取付状態･点灯状態を確認してください。
(動作確認方法)

①ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

②Ⅰ)電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

Ⅱ)その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約10秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。

Ⅲ)テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時のスイッチ設定は点灯時間設定ツマミが「1分」、点灯照度設定ツマミが「明」、ランプ選択ツマミが「白熱灯」となっています。

(点灯時間設定ツマミ、点灯照度設定ツマミ、ランプ選択ツマミについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

現象	考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいるのに消灯する	電源を「オン」にした直後、又は停電から復帰直後。 ※テストモードとなり約30秒から１分間点灯や消灯します。	常時壁スイッチを「オン」の状態にしてください。
	暗いとき：検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	暗いとき：肌の露出部分が少ない。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
	暗いとき：夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	
	暗いとき：器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくい時があります。
	エリアマスクがついている。	エリアマスクを外す。
点灯時間がおかしい	電源を「オン」にした直後、又は停電から復帰直後。 ※テストモードとなり約30秒から１分間点灯や消灯します。	常時壁スイッチを「オン」の状態にしてください。
	点灯時間が短い（約10秒で消灯）点灯時間設定ツマミが「**10秒**」になっている。	点灯時間は「10秒」、「1分」、「3分」から選択することができます。 （→「初めて使う時」をご参照ください。）
	点灯時間が長い（約3分で消灯）点灯時間設定ツマミが「**3分**」なっている。	
動作がおかしい	電球形蛍光灯を使用しており、「ランプ選択」のツマミが「白熱灯」になっている	ランプを白熱灯に変更する。 または、「ランプ選択」のツマミを「蛍光灯」にしてください。
	白熱灯を使用しており、「ランプ選択」のツマミが「蛍光灯」になっている。	ランプを電球形蛍光灯に変更する。 または「ランプ選択」のツマミを「白熱灯」にしてください。

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

！ 直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

取扱説明書

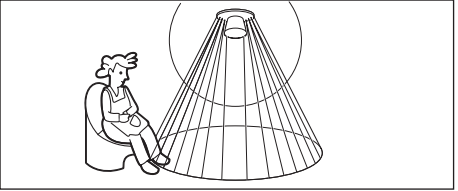
DCL-35145 D **保存用**

人感センサー(ON/OFFタイプ)

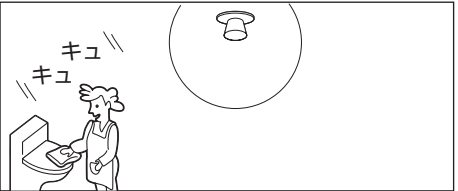
お客様へ

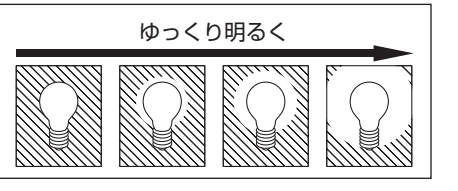
●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

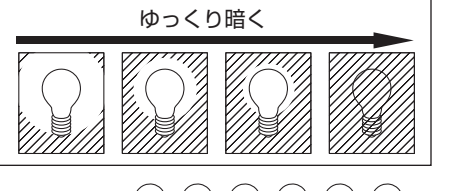
工事店様へ

●施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。

人感センサー付器具ですので壁スイッチは常時「オン」でご使用ください。

人感センサー付照明器具の特徴

センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。ランプは人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。

強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。

解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。

ソフトスタート

センサーが人を検知すると、ランプはゆっくり明るくなり、約5秒で100%点灯します。目が光に馴れるに合わせて徐々に明るくなるので、夜中でもまぶしさに目がくらむことはありません。

※蛍光灯モードではソフトスタートいたしません。

フェードアウト

設定された点灯時間（10秒、1分、3分）経過後、すぐにランプは消えません。約5秒かけてゆっくり暗くなり、消灯間近なことを知らせてくれます。（少し動けばまた点灯します。）

※蛍光灯モードではフェードアウトいたしません。

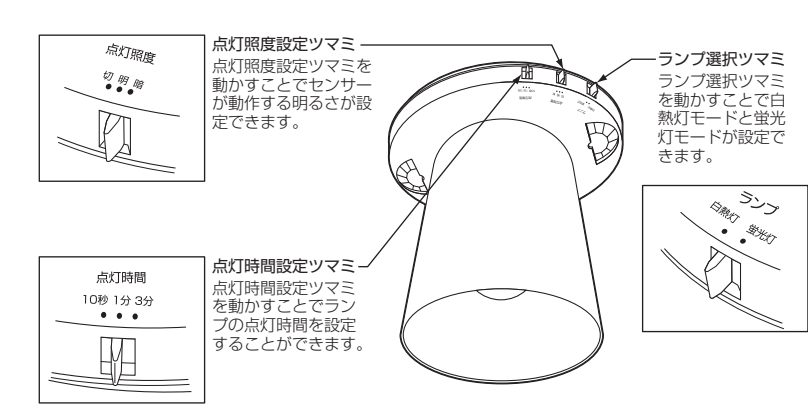
ゆっくり暗く

ロングラン機能

白熱灯モードに設定するとソフトスタートによるフィラメント保護と点灯電圧を90%にすることで、ランプ寿命が6倍にアップ（当社比）。ランプ交換回数を低減します。

普通

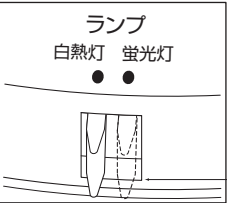
ロングラン　（寿命6倍）

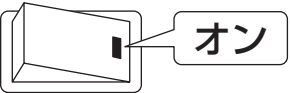
センサー各部の名称

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P､2を参照してください。)

エリアマスク貼り付け位置

初めて使う時(検知範囲を確認する)

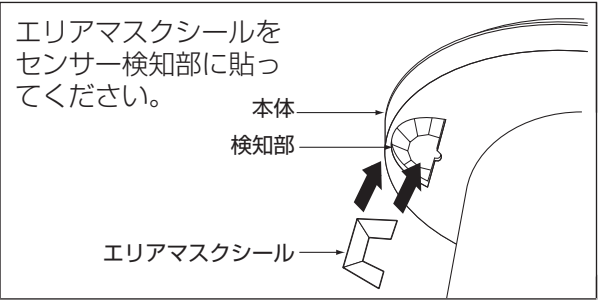
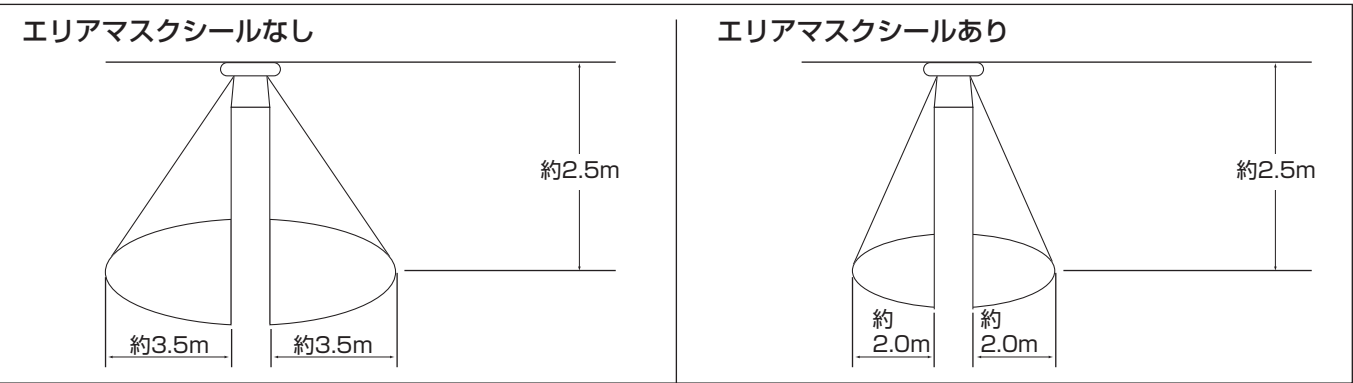
1. ランプを選択する

ランプ選択のツマミを設定することで「白熱灯」と「蛍光灯」を選べます。
注）電球形蛍光灯は別途ご用意ください。

「白熱灯」、「蛍光灯」に合わせる。　※詳細は **動作設定方法** を参照してください。

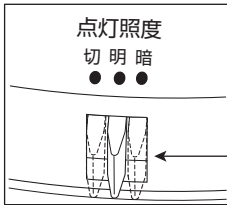
2. 壁スイッチを「オン」にする。

注）壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

3. 検知範囲を決める。

強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約10秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。また、検知範囲が広い場合は、センサーの検知部に「エリアマスクシール」を取り付けて検知範囲を調整してください。

〈エリアマスクシールの取付方法〉

〈センサーの検知範囲〉

注）器具を設置する際は、壁面からは30cm以上離してください。

4. センサーが動作する明るさを決める。

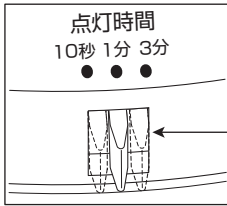
点灯照度設定のツマミを「切」、「明」、「暗」に合わせる。

「切」、「明」、「暗」に合わせる。

明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)
→「切」に合わせてください。

夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)
→「明」に合わせてください。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)
→「暗」に合わせてください。

5. ランプが点灯する時間を決める。

点灯時間設定ツマミをお好みの時間に合わせてください。

「10秒」、「1分」、「3分」の3段階から選べます。

修理を依頼される前に

●センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
●もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
●処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

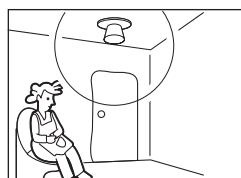
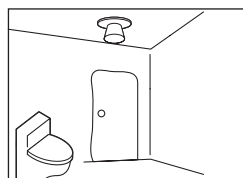
現象		考えられる原因	処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある。)	薄暗い時にセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「**暗**」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
		「点灯照度設定」のツマミが「**切**」になっている	「点灯照度設定」のツマミが「**切**」のときは周囲の明るさに関係なく、センサーが人を検知すればランプが点灯します。「点灯照度設定」のツマミを「**暗**」又は、「**明**」にしてください。
検知範囲に人がいるのに点灯しない	暗いとき	「点灯照度設定」のツマミが「**暗**」になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「**明**」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)
		ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)
		壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1.センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2.検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの検知部が汚れている。	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
検知範囲に人がいないのに点灯する		電源を「オン」にした直後、又は停電から復帰直後。 ※テストモードとなり約30秒から1分間点灯や消灯します。	常時壁スイッチを「オン」の状態にしてください。
	暗いとき	検知範囲内に人以外の熱源がある。 例：風などでよく揺れるもの(カーテン、植物など) エアコン温風ヒータなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど) 犬や猫などの動物 センサーが感知してふたが自動で開閉する便座	1.検知範囲を調整する。(→初めて使う時をご参照ください。) 2.熱源を取り除く。検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください

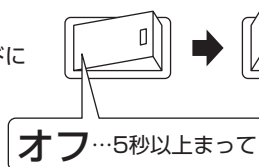
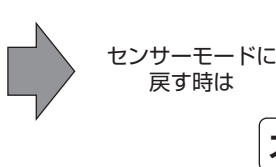
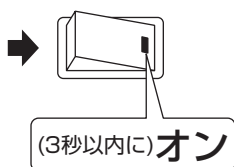
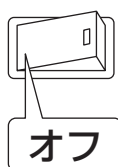
こんな使い方ができます

壁スイッチをONの状態でご使用ください。

人が来たときだけ点灯したい → 白熱灯モードへ / 蛍光灯モードへ

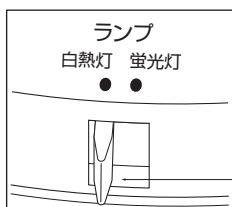
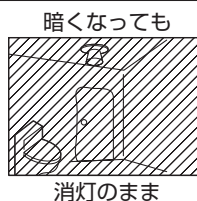
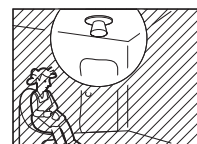
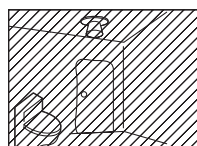
人がいないときは消灯　人が近づいたときだけ点灯

好きな時に照明を点灯させたい → 強制ONモードの操作へ

壁スイッチの操作をすると100%の明るさで点灯

約8時間後に設定したモードに戻る、又は消灯

動作設定方法

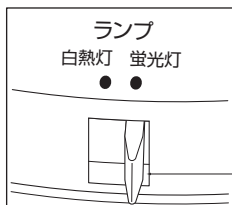
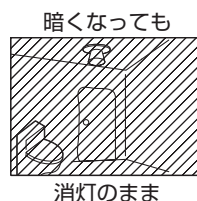
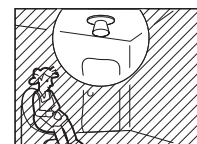
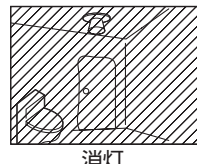
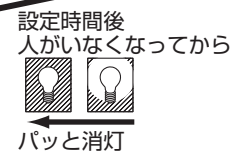
白熱灯モード

「ランプ」のツマミを「白熱灯」に合わせる。

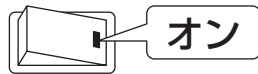
注）「点灯照度設定」のツマミが「**切**」の場合、周囲の明るさに関係なくON/OFFモードの動作になります。

注）白熱灯モードで電球形蛍光灯を使用しますとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し、感電・火災の原因となります。必ず白熱灯モードでは白熱灯をご使用ください。

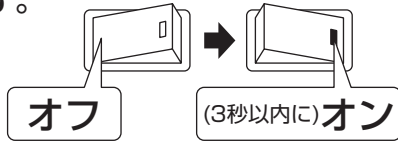
蛍光灯モード

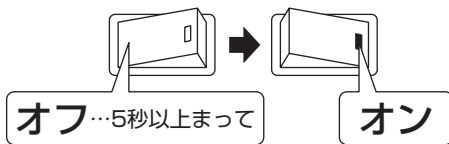
「ランプ」のツマミを「蛍光灯」に合わせる。

注）「点灯照度設定」のツマミが「**切**」の場合、周囲の明るさに関係なくON/OFFモードの動作になります。

注）蛍光灯モードで白熱灯を使用しますと点滅などの誤動作の原因となります。
必ず蛍光灯モードでは電球形蛍光灯をご使用ください。

強制ONモードの操作

1. 壁スイッチが「オン」になっている。

注）壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。（故障ではありません。）

2. 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。

注）強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約8時間100%点灯します。
その後はセンサーモードに戻ります。

3. センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。

注）壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

〈強制ONモードの動作〉

強制ONモード

オン → オフ → (3秒以内に)オン

キュ キュ

100%点灯

強制ONモード解除

解除する時は、「オフ」にして、**5秒以上**たってから「オン」にする

オフ…5秒以上まって → オン

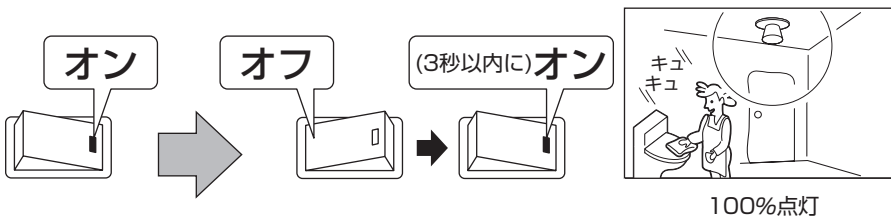
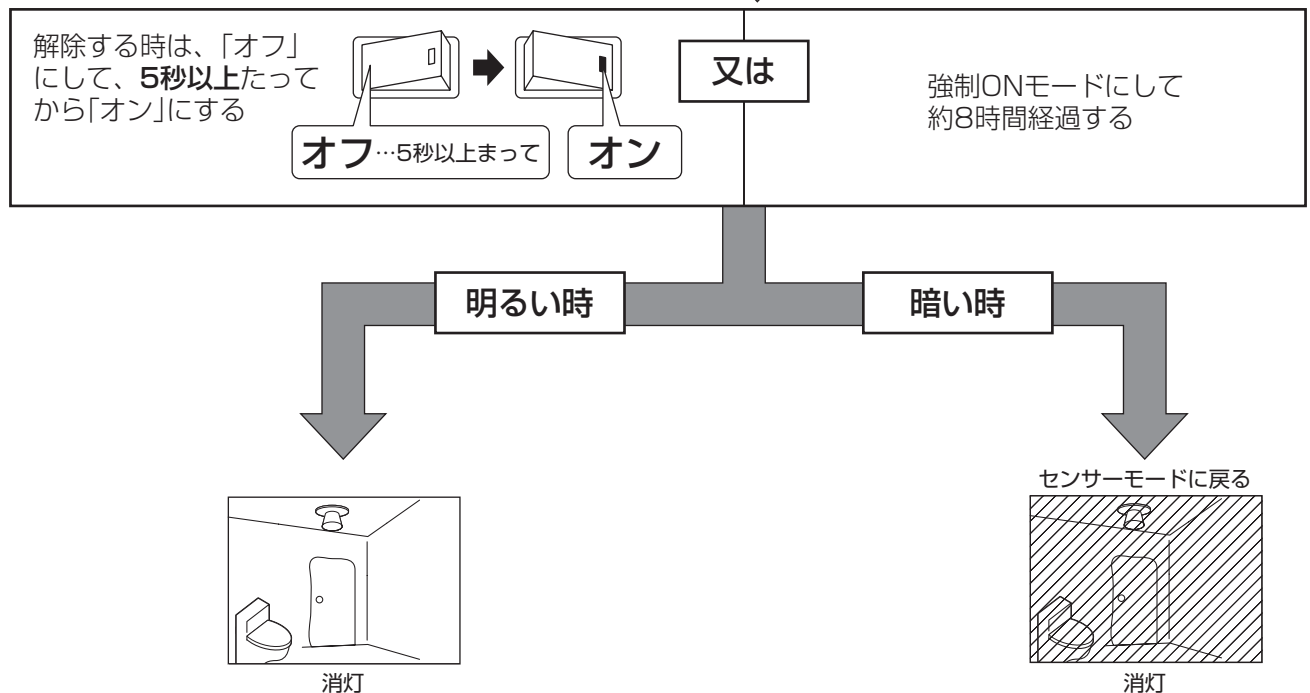
又は

強制ONモードにして約8時間経過する

明るい時 / 暗い時

消灯

センサーモードに戻る

消灯

注）壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。（故障ではありません。）